

■【トピックス】
TPP参加？



野田総理がTPP交渉参加を表明しました。国論を二分していますが、今の政権では米国との関係から不参加はありえないでしょうね。

今は、農業や医療分野での影響が懸念されていますが、サービス業である土業も例外ではありません。

弁護士や公認会計士は、今後米国からの参入があるでしょうし、日本独自の資格である税理士などは存続自体が危ぶまれます。今からTPPの締結を前提とした対策を検討しておく必要がありますね。

■【ビジネス・アイ】
損失飛ばし

社長 「オリンパスの事件で、『飛ばし』って言うんだけど、なんか昔、聞いたことがあるね」

花野 「そうですね。20年ぐらい前に、バブルが崩壊した時に流行った手法ですね」

社長 「そうだよね」

花野 「でも、今回の場合は、昔のような単純な手口ではないようです。昔は、含み損のある有価証券を買戻し条件付きで売却する手法がほとんどでしたからね」

社長 「報道だと、今回の事件はケイマンのファンドを使ったり、M&Aやその手数料に絡めたりしているようだね。素人には良く分からないね」

花野 「そうですね。われわれ専門家でも現時点では取引の全貌は分かりませんね。ただ、会社の買収資金や手数料が損失の穴埋めに使われたことは確かなようです」

社長 「どうしてオリンパスは、飛ばしなんかしたんだろうか？」

花野 「大きな理由は、株価の維持ですね。昔は多くの上場会社が転換社債で資金調達をしていたので、株式の時価が転換価格を上回っている限り、転換社債を償還する必要がなかったことが大きいですね」

社長 「そうなんだ！」

花野 「今では、転換社債が発行されることは、ほとんどありませんね」

社長 「いずれにしろバブルの遺産ということだね」

■【今月のキーワード】
損失飛ばし

金融商品会計導入前に、上場企業等で頻繁に行われていた有価証券など金融商品の損失を隠ぺい手法です。

具体的には、取得価額よりも時価が大幅に下がった金融商品を、のちに買い戻すことを約して簿価で売却して貸借対照表から一端はずします。通常は決算期の異なる上場企業同士で行い、決算後に簿価プラスその間の金利で買い戻します。

現在では、時価のある金融商品は、時価評価されるため行われていないはずですか？

■【今月の1冊】

『最強マフィアの仕事術』

マイケル・フランゼーゼ 著

ディスカバー・トゥエンティワン

¥1500

「本当の知恵は実社会での経験からしか学べない」と言い切る著者は、元ニューヨークの有名なマフィアの元幹部です。

著者は言います。本当の成功を手に入れるためには、マフィアの成果主義ではなく、ソロモン王の教えである誠実、高潔、勤勉な生き方しかない。元マフィアの著書の言葉だけに重みがあります。



■【編集後記】

プロ野球日本シリーズが終わりましたね。これで落合ドラゴンズも終わりですね。

必ずしも落合野球は好きではありませんでしたが、今回の人事のドタバタでは落合監督を支持したいと思いました（笑）。来年は大丈夫でしょうか？

『NEWS LETTER』 vol. 57（毎月1日発行）

●定価：2,400円/年 ●発行日：2011.12.1 ●発行人：花野康成

●編集・発行：有限会社ビジネス・インスパイア

〒460-0003 名古屋市中区錦3丁目1番30号錦マルエムビル5F

TEL.052-205-6361 FAX.052-204-8808

<http://homepage3.nifty.com/binspire/>